

## 教育学研究科・グローバル教育展開オフィス

### 立川 真衣

国際学会：International congress of psychology

参加地・期間：チェコ プラハ・2024/7/22~26

発表題目：Examining possible influences of adaptive control in a Theory-of-Mind task: A test with the proportion congruency effect

### 成果の概要

筆者は"Examining possible influences of adaptive control in a Theory-of-Mind task: A test with the proportion congruency effect."という発表題目で、チェコプラハで開催されたInternational Congress of Psychology (ICP)のポスターセッションに参加しました。筆者は他者の心的状態、意図、視点などを理解する能力のことである「心の理論」に関心があり、心の理論の一側面である視点取得を測定することができるようにされているディレクター課題についての研究を行っています。特に課題が実施されるまでの参加者の経験だけではなく、参加者のディレクター課題実施中における経験そのものが課題結果に与える影響について興味関心を持っています。日本ではこのディレクター課題を使用した研究例がごくわずかであり、ほとんどの先行研究は欧米圏を中心とした国外であるという現状があります。そこで、世界最大規模の心理学学会であり、広い分野の数多くの心理学者が集うICPに参加することで、国外の心理学者との積極的な議論が可能であると考えました。

筆者が参加したICPのポスターセッションは5日間にわたり13回のセッションが行われました。筆者のポスター発表では、「心の理論」の研究を行っている研究者とコントロールの研究を行っている研究者と議論を行うことができました。また自閉症児を対象に「心の理論」と視空間における視点取得の実験を行った研究者のポスター発表への参加を通し、論文のみでは目にすることが出来ない実際に使用した実験課題の全てと、各問題の意図を知ることができました。このような発表を通じた同分野の研究者との新たな繋がりだけではありませんでした。ICPに参加した同じ教育認知心理学講座の院生を通じて、日本の他大学で心理学を研究している院生と交流することができました。国際学会ではあるが、だからこそ大学や分野の垣根を超えて新たな繋がりが出来たのではないかと感じています。

筆者は修士課程の学生であり、修士を対象とした研究助成がほとんどない中、今回援助いただいた国際学会発表支援がなければ、ICPへの参加を断念するどころか参加という選択肢が頭に浮かばなかったと思います。いただいた援助に感謝するとともに、ICP参加で得た新たな知見、繋がりを今後の研究にめいっぱい活用していきたい所存です。